

# 針灸臨床五五年の経験から

## 診療した六五七病種の疾患について

倉島宗二

授、助教授、講師、助手、研究員、学生等  
合計二〇〇名を越えていた(当日、一九八  
六年四月二十九日は、中国のメーデー祝賀の  
連休で、多数の学生が休暇を生家で過すた  
め帰郷し、聴衆が少い旨、申しわけないと  
断っていたが)

中国遼寧中医学院の講演は、惶惶の間の  
決定だったので、一応五五三疾患について  
講述したが、これは筆者保存のカルテの全  
部にわたったわけではない。準備時間の都  
合から、それはやむを得なかった。

針灸の臨床にタッチして五五年が経過し  
た。その間、診療した患者の延人員は、ほ  
ぼ五三万余名をかぞえ、疾病の種類も数百  
を越えている。

### 一、緒言

の文書交信の結果、「倉島先生の長年月に  
わたる針灸臨床の経験について聴講した  
い」との希望を受け、「針灸臨床五十四年  
に診療した疾病の経験について」と題し、  
五五三病種の疾患につき、筆者の針灸臨床  
の経験を三時間にわたって講演した。

昨年(一九八六年)中国瀋陽市(人口五  
二〇万、中国第四の大都市、旧、奉天市)  
の遼寧中医学院(五年制医科大学・全寮  
制)から講演の招請を受けた折、演題とし  
て「坐骨神経痛の針灸治療について」「高  
血圧症、低血圧症の針灸治療について」等  
の演題を考えたが、遼寧中医学院針灸系実  
験針灸教研室主任教授刘凡氏との二、三回

通訳が入るから実時間は約半分、一時間  
半となったので、詳細にわたる解説はすべ  
て省略し、筆者の実際の針灸治療の経験  
について、各疾病をそれぞれ適・不適  
(Excellent 著効 Good 有効 Fair 効・無  
効不定 Poor 乏しい・貧弱)に分類して  
講演した。

会場は遼寧中医学院の広い階段教室で教

筆者の所持するカルテは一九三五年(昭  
和一〇年)以降、今日一九八七年(昭和六  
二年)まで総計六二、〇〇〇枚を越えてい  
る。このカルテは、筆者が臨床研修に通っ  
ていた日本赤十字社長野支部病院のカルテ  
の型式を、そのまま、やや小型に縮小した  
もので、現在ただ今もこれを使っている。  
カルテの記載項目は型のごとく番号、紹  
介者、その他、姓名、住所、職業、年令、  
初診日、病歴、主訴、既往症、現症、体

温、脈搏、睡眠、食欲、便通、月経、月経痛、酒、煙草、淋疾、梅毒（往時これは大変多かった）尿蛋白、尿糖、血圧左右となり、書込む余白をとってあって、最後に経過を記載できるようにしている。別にデバッグノーズ（診定、診断）を記録する書式になっている。

長い患者はこの日赤型カルテ採用の一三〇年（昭和一〇年）から引続いて今日まで来院している。経過を記録するため同じ大きさの補助カルテを貼付し、患者一人一カルテで、何年でも使っている。古い患者では、例えばK・N夫人の補助カルテは四七枚、I・T夫人四三枚、T・M夫人三一枚という大変なものとなり、治療回数それぞれ一三二二回、一二〇四回、八六八回（今年五月十八日本院助手調べ）と仰山な回数になっている。その人の疾病経過は勿論のこと、ところどころそれ等の人々の特別な行事、行動も記入されている。何月何日勲五宝冠章受章とか、何月何日バリ島旅行無事とか、また何月何日曾孫誕生、何月

何日県議当選等々、記入してある。因に長年月来院患者は圧倒的に婦人が多い。

六二、〇〇〇枚のカルテというのは、補助カルテが添付されているから、膨大な量となつて、筆者の狭い診療室では、置場に困つたので、約四二、〇〇〇枚を、大阪鍼灸専門学校へ預託してある（これは故代田文誌、茅野和平、故塩沢幸吉と筆者四名の共有のものである）

今回、必要があつて手許にある筆者個人の約二〇、〇〇〇枚のカルテと、曾て出張および往診で診た患者の診療録を点検したところ、昨年中国遼寧中医学院で講演した折の疾病数五五三病種より、さらに一〇四病種多く、合計六五七病種となつた（一、三重複があるが、諒とされたい）

大阪鍼灸専門学校に預けてある約四二、〇〇〇枚のカルテを調べたら、その上さらに多くの病名が見つかるはずである。

長年月、臨床にタッチしている針灸師ならばこそそのことである。各科別に診療する病院、診療所の医師では、想像もつかない

多種多様な疾病であろう。開業針灸師というものは、多かれ少なかれこのようなものである。いわゆる所のプライマリケアそのものである。

患者は針灸の適応、不適応を知る術がない。あれこれの病院、診療所を廻つて治らなければ、最後に針灸治療でもということになるのではなからうか。疾病には、申すまでもなく針灸で治る病気もあれば、治らぬ病気もある。針灸不適応と考えられ、西医的処置が適すると思う来患は、患者本人の立場に立ち、それぞれ適當する医療機関へ紹介するのが常である。

## 二、針灸施術適、不適の疾病分類

もとより常識的に針灸不適応と考えられるような疾患でも、針灸施術によって、意外な好成绩を収める症例もあるが、反対に治療確実の見込みで治療して、結果が面白くないという症例もある。治療してみなければ判らないということが多いものである。

したがって事前に疾病の適・不適を決めつけることは妥当を欠く。それは針灸治療のみの力量の問題ではなく、内科でも外科でも、眼科でも耳鼻咽喉科、その他何科についても言えることであって、医療とは、そういう宿命を持つ仕事であろう。結果から評価判断する以外にない。

さらにまた個人の経験だけから、諸種の疾病について、針灸治療の適・不適を断案することも僭越のソシリを免れない。

まして針灸治療のような高度な技術を必要とする施術では、術者の技量の巧拙が、治療成果を大きく左右する。技術は個人の天成の素質的なものもあって、生まれつき器用な人もあれば不器用な人もあるのは当然である。如何に該博な医学的知識があっても、針灸施術のような精妙な治療は、不器用であっては十全の効果は期しがたい。

針灸に関する一応の知識さえあれば誰にでもいゝ成績を挙げられるというものではない。技術は習練を重ねれば、一応ある程度の水準に達する可能性はあるものの、そ

れ以上に、生得の資質がものを言う所が大い。

私事にわたって恐縮であるが、筆者の曾祖父は、江戸末期画壇の大家、谷文晁を自宅に逗留させて直弟子となつたし、祖父は成田屋九代目市川團十郎の直弟子となり、門外不出の隅取りを与えられたものの、それによって家産を蕩尽した。愚弟は木彫と俳画をよくし、老後はその道の師匠だったこと等々、多少器用な遺伝を受け継いでいるわけなのに、こと針灸の技術では全然誇り得るものではない。ただ臨床経験が若い諸君にくらべて多少長く、だから診療した患者数と疾病数が幾分多いという以外に、言挙げ出来るものは何も無い。

しかし考えてみれば、医療のことは、経験が学識に劣らない発言力を持つ場合も少なくない。その意味から、筆者の経験の発表も、あなたがチ徒爾ではあるまいと思ひ、Excilent (優れた・見事な・りっぱな) Good (宜しき・良好な・効目ある)

Fair (可成りの・相応な・善くも悪くもなく)

Poor (乏しい・つまらない・貧弱な) の四段階に割り振つた。独断の批判もあることは、もとより承知であるが、本稿は筆者の五五年にわたる個人的臨床経験の記述として御諒解をがいたい。

病名については、筆者自身の能力の可能な範囲で診定したもの、公私の医療機関の診断、および患者自身の申出(勿論正規の医療機関の診断にもとづくもの)によつたものが混在している。また単なる症状を病名としたものもある。したがって厳密な検討に堪え得るものではないことも了承願いたい。

疾患の病種別分類は、専門の医書の記載の序列とは、甚だしく異なるものがある。こゝれまた筆者の便宜的な処置なので、御海容ねがいたい。

例えば中枢神経疾患である顔面神経麻痺や三叉神経痛等を、末梢神経疾患の項に入れた等は、医学的常識に背くことである

ら。  
疾病それぞれの具体的な施術方法については別の機会にゆずり、本稿では一切触れない。

今回は、六五七種類の各疾患に対し、一針灸専門家の臨床の経験から、著効、有効、効果不定、効果疑問・無効の四クラスに割り振ったに過ぎない。病種記載の配列は、一応五十音順を基本としたが、多少の例外が混入している。

拙稿が少しでも少壮後進の読者の参考になれば筆者望外の幸甚である。こんな病気にも針灸は有効なんだなあ……、こんな病気は駄目なのかなあ……と。

1 眼科疾患——四一病種——

A Excellent 著効 (四)

仮性近視、眼球結膜下出血、眼精疲労、麦粒腫。

B Good 有効 (一一)

弱色、トラコーマ、パンスス。

C Fair 効・無効不定 (一八)

角膜炎、角膜実質炎、角膜疱疹、眼瞼下垂、眼痛、眼底出血、角膜フリクテン、虹彩炎、光視症、霰粒腫、硝子体混濁、硝子体出血、春季カタル、白内障、飛蚊症、複視、網膜出血(眼底出血と異名同病)、緑内障、流涙。

D Poor 効果疑問・無効 (一七)

円錐角膜、眼球乾燥症、眼球振盪症、強膜炎、近視、色盲、視神経萎縮、若年性再発性網膜硝子体出血、斜視、閃光暗点、半盲症(交通事故後遺)、中心性脈絡網膜炎、ブドウ膜炎、網膜色素変性、網膜剝離、翼状片、乱視。

2 耳鼻咽喉科疾患——四二病種——

A Excellent 著効 (六)

咽喉異物感、嗝声(悪性あり要注意)、失声(全前)、耳管狭窄、声帯不全マヒ、梅核気(咽喉頭症候群、咽喉頭神経症)。

B Good 有効 (一六)

萎縮性鼻炎、咽喉炎、嗅覚鈍麻、くしゃみ、耳下腺炎、耳痛、蓄膿症、蓄膿症手術

後副鼻腔膿瘍、鼻咽頭症候群、鼻炎、肥厚性鼻炎、鼻痛、鼻茸、扁桃炎、扁桃周囲炎、味覚減退。

C Fair 効・無効不定 (一六)

いびき、後鼻漏、中耳カタル、鼻出血、鼻涙管狭窄、耳鳴り(有効少なからず)

D Poor 効果疑問・無効 (一四)

喉頭結核(往時多数診療)、耳下腺癌、耳下腺混合腫瘍、耳管閉塞、臭鼻症、先天性難聴、中耳炎、中耳真珠腫、突発性難聴、難聴(感音性・老人性)、鼻涙管閉塞、鼻中隔彎曲、味覚脱失、聾人結節。

3、中枢神経疾患——一六〇病種——

A Excellent 著効 (七)

圧迫性脊ズイ炎(往時多発、原因、椎カリエス膿瘍)車酔い、クラステル頭痛(集中発作性片頭痛)寒い寒い病(症候名)周期性四肢マヒ、頭重、片頭痛(クラ、シカル)

B Good 有効 (一一)

一過性脳虚血症(要注意)間代性筋痙

變、氣力喪失、幻肢痛、嗜眠、小舞踏病、自律神経失調症、ノイローゼ、メニエール病、めまい、老人性ウツ病。

C Fair 効・無効不定 (一三)

易怒症(情動失禁)、カウザルギー(戦傷疼痛)強迫観念、構語障害、交感神経緊張症、失語症、書癡、精神衰弱、そううつ病(軽症)、ヒステリー(ヒステリーマ、ヒステリー球症状)、不潔恐怖症、ヘミパリズム(ルイス体症候群)、不安神経症(仮面デプレッション)、不眠症。

D Poor 効果疑問、無効(二九)

アテトーゼ、アミロイドニューロパチー、ウィルソン病、記憶喪失、球マヒ、偽性球マヒ、筋萎縮側索硬化症、首下り病、失行症、重症筋無力症、小脳症候群、小脳脊ズイ症候群、シャルコー・マリー・ツース病、脊ズイ瘻、多発性硬化症、体位性眩暈、てんかん、ナルコレプシー(睡眠発作)、脳腫瘍、脳性マヒ、脳膜炎(往時多数)、ハイネ・メジン病(急性灰白ズイ炎・ポリオ)、ブラウンセカール麻痺(脊ズ

イ半側障害症候群)、フリードライヒ病(遺伝性脊ズイ性運動失調症)、夢遊病、離人症、老人性痴呆(アルツハイマー病)、精神薄弱、精神分裂病。

4、末梢神経疾患 一五四病種

A Excellent 著効(二六)

足うらシビレ、おとがい痛、おとがい座癱、外側大腿皮神経痛、眼窩上神経痛、顔面神経マヒ(バル麻痺)、胸郭出口症候群、頸肋症候群、後頭部痛、三角筋痛、尺骨神経痛、手指シビレ、踵骨痛、上腕神経痛、小後頭神経痛、僧帽筋々膜症、大後頭神経痛、大腿神経痛、腸骨鼠径神経痛、頭痛(筋緊張性)、橈骨神経痛、閉鎖神経痛、ベルンハルト知覚障害(知覚異常性大腿神経痛、農山村多発疾患)、むち打ち症候群、肋間神経痛、腸骨下腹神経痛。

B Good 有効(一一)

会陰神経痛、眼瞼痙攣、顔面痛、ギラン・バレー症候群(多発性神経根炎)、坐骨神経炎、坐骨神経痛、指端知覚異常症、

上殿神経痛、下殿神経痛、前脛骨筋痙攣、伏在神経痛、尾骨神経痛。

C Fair 効・無効不定(一一)

腋窩神経マヒ、顔面シビレ(高血圧由来)、顔面神経痙攣、脛骨神経マヒ、三叉神経痛、尺骨神経マヒ(晩発性)、正中神経マヒ(採血注射針後遺症)、大腿神経マヒ、橈骨神経マヒ(注射後遺)、腓骨神経マヒ(殿部グロース三角部イルガピリン注射由来、往時多発)、ラムゼー・ハント症候群(膝神経節炎)。

D Poor 効果疑問、無効(五)

肢端紅痛症(皮膚紅痛症) 神経鞘腫、舌咽神経痛、舌咽神経マヒ、多発性神経炎。

5、循環器疾患(心・脈管)

一三六病種

A Excellent 著効(五)

間欠性跛行症、高血圧(除アルドステロン症)、心悸亢進、心臓神経症、低血圧(特に愁訴性)。

B Good 有効(九)

下腿浮腫、クインケ浮腫（血管神経性）、

静脈血栓（軽症）、脳貧血、メルカソール・ローゼンタール症候群（血管運動神経性）、モンドール病（硬化性皮下静脈炎）、有痛性白股腫（静脈血栓）レノーノ病、頻脈。

C Fair 効・無効不定（六）

心臓弁膜症、脳出血後遺症、脳血栓後遺症、脳塞栓後遺症、パージャール病（ビュルゲル病）、白臘病。

D Poor 効果疑問、無効（一六）

アダム・ストーク症候群、狭心症、心外膜炎、心臓衰弱、心室中隔欠損症、心房中隔欠損症、心肥大、静脈瘤、脊ズイ出血、遅延性心内膜炎、大動脈瘤、高安病（脈無し病）、脳動脈硬化症、不整脈、ワレンブルグ症候群（後下小脳動脈血栓症）、ホヂキン病（悪性リンパ腫）。

A Excellent 著効（〇）

なし。

B Good 有効（〇）

6、血液・造血管疾患——七病種——

なし。

C Fair 効・無効不定（二）

萎黄病、貧血（悪性貧血を除く）。

D DPoor 効果疑問、無効（五）

カ粒細胞減少症、血小板減少紫斑病、再生不良性貧血、白血病、パンチ氏病（巨大脾腫）。

7、呼吸器疾患——二病種——

A Excellent 著効（〇）

なし。

B Good 有効（五）

欠伸頻発、風邪症候群、気管支喘息、急慢気管支炎、しゃっくり。

C Fair 効・無効不定（一〇）

気管支拡張症、胸膜炎（湿性・乾性、往時頻発疾患）、硅肺、じん肺症、膿胸（化膿性肋膜炎）、肺壞疽（肺化膿症）、肺気腫、肺結核（往時頻発、針灸のみで治癒多し）、肺線維症、びまん性間質性肺炎。

D Poor 効果疑問、無効（六）

喀血、喉頭癌、喉頭結核（往時多発、全

例死亡）、特発性気胸（自然・外傷・有痛性）、肺癌、肋膜炎（往時多発、死亡多し）。

8、消化器疾患——七七病種——

A Excellent 著効（八）

胃アトニー、胃痙攣、胃神経症、肛門部痛、神経性嘔吐、神経性下痢、舌痛、空腹痛。

B Good 有効（二九）

胃炎、胃下垂症、胃潰瘍（慢性）、胃拡張、胃切除後ダンピング症候群、萎縮性胃炎、移動盲腸、異食症（異味症）、過酸症（胃酸過多症）、過敏性大腸炎、牛乳不耐性下痢、暖気（げっぷ・おくび）、口角ヒ爛、口唇掻痒症、口唇ヘルペス（単純疱疹）、口内炎、十二指腸潰瘍、十二指腸憩室、神経性食欲欠除症、舌炎、唾腺痛、痔疾（内・外痔核、絞扼性脱出嵌頓、出血、裂肛等）、直腸発症（肛門瘻直症）、吞気症、吞酸そら離（むねやけ）内、臍下垂症、頻便、慢性胃炎、慢性大腸炎。

C Fair 効・無効不定 (一一)

S 状結腸過長症、下痢、肛門搔痒症、食道痙攣、大腸カタル、大便秘禁、唾液減少症、胆石症、胆道炎、胆道回虫迷人、胆道デスキネジー、腸管ゼン動不穩症、直腸炎、直腸ポリープ、便秘、慢性肝炎、慢性スイ炎、味覚鈍麻、無酸症(胃塩酸欠乏症)、遊走胆、遊走脾。

D Poor 効果疑問、無効(一八)

胃癌(治療例希有) 黄疸(劇性) 肝硬変、肝臓癌、肝肥大、急性肝炎、急性スイ炎、口臭症、食道狭窄、食道癌、脂肪肝、スイ臓癌、脱肛、胆のう炎(急性) 胆道狭窄、直腸癌、腸結核(往時多発)、腹膜炎(急性)。

9、腎・尿路・性器(男性) 疾患

——三七病種——

A Excellent 著効(一一)

神経性頻尿、膀胱カタル。

B Good 有効(一一)

遺精(昼間)、陰茎痛、インポテンツ、外陰寒冷(老人性)、龜頭包皮炎(少年)、睾丸

機能低下症、射精時陰茎痛、プリアピスム

S(陰莖強直症、持続勃起、強中)、性功能減退、特発性腎出血、尿道痛(放尿時痛)、夜尿症(幼少年)。

C Fair 効・無効不定(一六)

睾丸炎、腎臓結石、腎盂炎、腎盂腎炎、前立腺炎、前立腺肥大、早漏、昼尿症、尿失禁、尿管結石、ネフローゼ、膀胱結石、慢性腎炎、遊走腎、両側腎臓結核、淋疾。

D Poor 効果疑問、無効(七)

萎縮腎、腎臓結核、前立腺癌、停留睾丸(幼児)、尿道下裂、膀胱癌、膀胱結核。

10、皮膚科疾患 ——三八病種——

A Excellent 著効(三)

円形禿髮症、神経性脱毛症、疣贅(青年性)。

B Good 有効(一一)

魚の目(鶏眼)、凍瘡(しやけ)。

C Fair 効・無効不定(九)

アトピー性皮膚炎、肝斑(子宮肝斑)、柑皮症、寒冷蕁麻疹、結節性紅斑、光線白斑

黒皮症、コリン性蕁麻疹、蕁麻疹、ゲジヒ

トフルンケル(面疔)。

D Poor 効果疑問、無効(三三)

アクチノミコーゼ(放線菌症)、腋臭(わきが)、ケロイド(蟹足腫)、貨幣状湿疹、恐皮症、頑癬、紅皮症、湿疹、酒查鼻、小水泡性斑状白癬(錢田虫)、浸出性紅斑症、尋常性白斑(白殿風、白なます)、多汗症、皮膚癌、皮膚搔痒症(老人性)、粉瘤、無汗症、面皰(にきび)、毛孔性角化症、薬疹、

列序性母斑、レックリングハウゼン病(多発性神経線維腫)、レントゲン癌。

11、運動器・結合織・筋・骨・関節疾患等 ——一〇六病種——

A Excellent 著効(一八)

アキレス腱痛、オーグスト・シュラッテル病、肩こり、頸関節痛、肩関節周膜炎、キーパンチャー病、頸肩腕症候群、頸椎軟部損傷(いわゆる鞭打ち症候群等)、バルニー病(項中隔石灰化症)、五十肩、四十肩、少女膝痛、ティーツェ病(栄養障害性

肋骨軟骨萎縮症)、テニス肘(上腕骨外果炎)、寝腰(夜間腰痛症)、捻挫、背筋痛、野球肘(上腕骨内果部痛)。

**B Good 有効(五四)**

アキレス腱部滑液包炎、顎関節内障、肩関節亜脱臼(片麻痺後遺症)、肩関節痛、ガングリオン(結節腫、節腫)、筋々膜症候群、ギックリ腰、頸肋症候群、肩背筋膜炎、腱鞘炎、骨多孔症(骨粗鬆症)、こむら返り(腓腸筋その他諸筋の痙攣)、三角筋炎、上腕二頭筋筋腹断裂、尺骨茎状突起炎、手関節痛(手根骨間関節痛、甲手、からうで等)、シャルコー膝(神経病性膝関節症)、前斜角筋症候群、脊椎不全症(脊柱機能不全)、脊椎迂り症、脊椎二分症、脊椎分離症、脊柱管狭窄症、潜在性脊椎破裂、先天性脊椎分離症、仙腰関節症、足関節関節症、足関節捻挫、足根管症候群、大腿直筋断裂、大腿四頭筋炎、弾挽顎、弾挽肩、弾挽股、弾挽指(母指以下)、弾挽膝、恥骨結合痛、中手指節関節痛、橈骨茎状突起炎、背胸腹痛(胸椎強度後彎由来)、尾骨痛、膝

関節滑液包炎、肘関節炎、肘関節滑液包炎、ヘベルデン結節、変形性胸椎症、変形性頸椎症、変形性膝関節症、変形性腰椎症、腰仙移行椎、腰椎迂り出し症、リウマチ熱、リチャード病、肋骨亀裂骨折。

**C Fair 効・無効不定(一〇)**

外反母趾(有痛性)、強直性脊椎炎、肩甲軋音症、後縦靭帯化骨症(頸椎部)、手根管症候群、踵骨棘、踵骨々端炎、シュモール結節、脊椎カリエス(往時頻発)、脊ズイ硬膜外注射後遺症(下肢不全麻痺)、肘頭滑液包炎(学生肘椎間板)、ヘルニア、椎間板内障、膝関節捻挫、腓腹筋断裂、変形性股関節症、慢性関節リウマチ、母指変形性関節症、老人性円背、肋骨カリエス。

**D Poor 効果疑問、無効(一四)**

キンバク病(月状骨軟化症)、クル病(ヴィタミンD欠乏症)、結核性関節炎、骨ズイ骨膜炎、先天性斜頸、脊ズイ損傷(外傷性)、脊ズイ痛、脊ズイ痙(梅毒性)、脊柱側彎症、大腿筋短縮症(注射後遺症)、デュピュイトラン拘縮、膝反張、半月板損傷、

扁平足

12、アレルギー性疾患

—八病種—

**A Excellent 著効(〇)**

なし。

**B Good 有効(一)**

アレルギー性気管支喘息。

**C Fair 効・無効不定(五)**

アレルギー性眼瞼炎、アレルギー性下痢、アレルギー性鼻炎、アレルギー性皮膚炎、花粉症。

**D Poor 効果疑問(一)**

アレルギー性体質、薬剤アレルギー。

13、感染症 —八病種—

**A Excellent 著効(一)**

風邪。

**B Good 有効(一一)**

帯状疱疹、単純疱疹。

**C Fair 効・無効不定(三)**

百日咳、溶連菌感染症、淋病。



**D Poor** 効果疑問、無効(一)  
ハンセン病(類・レブラ)、梅毒。

14、内分泌疾患 —— 一七病種 ——

**A Excellent** 著効(〇)  
なし。

**B Good** 有効(三)

甲状腺機能亢進症(軽症)、単純性甲状腺腫、慢性甲状腺炎(橋本病)。

**C Fair** 効・無効不定(七)

アジソン病、甲状腺腫、糖尿病、尿崩症、粘液水腫、バセドウ病、慢性結節性甲状腺腫。

**D Poor** 効果疑問、無効(七)

アクロメガリー(末端巨大症)、アルドステロン症(副腎皮質機能亢進症)、悪性甲状腺腫、甲状腺癌、こびと症(侏儒)、副腎性器症候群、脳回転頭皮症(アクロメガリー)。

15、産婦人科疾患 —— 四〇病種 ——

**A Excellent** 著効(三)

月経困難症(月経痛)、想像妊娠(病気?)、

乳腺症。

**B Good** 有効(一一)

悪阻(つわり)、外陰痛、月経不順、頸管カタル、更年期障害、子宮筋腫(間質性のもの自然治癒多し)、血の道症、膣炎(単純性)、乳腺炎、乳汁分泌不足、流産グセ。

**C Fair** 効・無効不定(一五)

外陰寒冷(陰冷)、カンジダ性膣炎(膣真菌症)、月経過多症、子宮内膜炎、子宮内膜症、子宮付属器炎、トリコモナス膣炎、尿道腫瘍、膀胱膣直腸瘻(糞瘻)、白帯下、不妊症、卵管炎、卵巣周囲炎、卵巣機能不全症、冷感症(性交無欲症)。

**D Poor** 効果疑問、無効(一一)

外陰掻痒症、子宮外妊娠、子宮癌、子宮出血、子宮下垂、子宮脱(全脱・不全脱)、性器奇形(中膣・半陰陽)、乳癌、卵巣欠落症候群、卵巣のう腫、卵巣癌。

16、小児科疾患 —— 三二病種 ——

**A Excellent** 著効(四)

小児喘息、腺病質、慢性副鼻腔炎、慢性

扁桃炎。

**B Good** 有効(四)

小児カン虫、小児結核、ひきつけ、幽門痙攣。

**C Fair** 効・無効不定(七)

アデノイド、異嗜症(異味症)、再発性膣仙痛、小児自家中毒症(往時多発)、チック、夜啼症、夜驚症。

**D Poor** 効果疑問、無効(七)

アトピー性皮膚炎、川崎病(急性熱性皮膚粘膜リン巴腺症候群)、進行性筋ジストロフィー(進行性筋性筋萎縮)、ダウン症候群(モンゴリスムス)、点頭痙攣、熱性痙攣、疫痢(はやて)。

17、中毒 —— 一〇病種 ——

**A Excellent** 著効(〇)

なし。

**B Good** 有効(〇)

なし。

**C Fair** 効・無効不定(七)

一酸化炭素中毒(軽症)、亜急性脊ズイ視

神経障害 (スモン、キノフォルム中毒)、精神安定剤中毒、農薬中毒 (軽症)、戦後一時期多発)、ベンジン中毒 (軽症)、慢性睡眠薬中毒、メタノール中毒 (軽症)。  
**D Poor** 効果疑問、無効 (三) アスピリン中毒、アルコール中毒、食中毒。

18、歯科疾患 —— 二病種 ——

- A Excellent** 著効 (一) 歯痛。
- B Good** 有効 (〇) なし。
- C Fair** 効・無効不定 (〇) なし。
- D Poor** 効果疑問、無効 (一) 歯肉炎 (歯槽膿瘍症)。

19、その他の疾患と追加疾患 —— 三二病種 ——

- A Excellent** 著効 (五) 下肢倦怠、吃逆 (しゃっくり)、全身疲労

感、精神力低減、精気減退。

- B Good** 有効 (七) 打ち身、脚気、打撲、のぼせ (下虚上実)、ふけごめ (周期性熱感)、類リウマチ (リウマトイド)、冷房病。

**C Fair** 効・無効不定 (一一)

足うら熱感、足うら冷寒、足底異物感、頸部リンパ腺結核 (るいれき、往時多発)、食道憩室、盗汗 (非結核性)、歯ぎしり、羽ばたき振戦 (ウイルソン病)、ひょう疽 (皮内・皮下・腱・骨)、冷え症、肥胖症、臍ただれ。

**D Poor** 効果疑問、無効 (七)

吃音、クロン病 (回腸末端炎)、シエグレイン症候群 (全身粘膜炎乾燥)、サルコイドーシス (肺線維症型)、鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、ホジキン病 (悪性リンパ腫)。

三、結語 —— 統計 (表1) ——

五十五年にわたる筆者の針灸臨床の実験を概括すれば、一例たりとも予期できない、奇蹟的な効果を得たという治験に

表1

|                              |                                |
|------------------------------|--------------------------------|
| 診療した病種の総数                    | 657病種                          |
| A. Excellent (優れた・みごとな・りっぱな) | 93 //                          |
| B. Good (宜しき・良好な・効目ある)       | 180 //                         |
| C. Fair (可成りの 相応な・善くも悪くもなく)  | 189 //                         |
| D. Poor (乏しい・つまらない・貧弱な)      | 195 //                         |
| .....                        |                                |
| A = 93                       | ∴657 : 93 = 14.2%..... 効果顕著    |
| B = 180                      | ∴657 : 180 = 27.4%..... 有 効    |
| C = 189                      | ∴657 : 189 = 28.8%..... 効・無効不定 |
| D = 195                      | ∴657 : 195 = 29.8%..... 殆んど無効  |

会った記憶がない。奇想天外な偉効に遭遇した症例を持たない。思いもかけない卓効を収めたという患者の経験も想起できない。

過去の臨床経験で、治癒した症例は、すべて、ただこれ当然治るべくして治った例のみである。針灸治療には奇策もなく、奇

道もなく、したがって奇蹟もない。  
 著効、有効の疾病も、基本的には、すべてクライアント（依頼人・患者）自身が、本来具有している良能（自然治癒力・生れながらに具得する能力）を、ほんの少々、強盛に亢進させた結果、得られたものに過ぎない。

もとより凡百の医療行為、医療活動というものは、洋の東西を問わず、手段の如何を問わず、これ（良能力）を無視しては存在できない。況して東洋医学の鍼灸治療は、良能・自然治癒力に大きな比重を掛けている。

ほんの少し、自然治癒力を亢進させるだけでも、それを続けるならば、結果は霄壤（天と地）の差となる。生と死の差が生じる。

鍼灸治療とは、本質的には、そういうものであるとうと理解している。それこそが、よく三千年の長星霜の淘汰に堪え、今日なお厳存している根底ではあるまいか。

針にも灸にも、疑いもなく自然治癒力を

**読者の皆様へ**

- 読者の皆様の住所、お名前はすべて会員番号によって登録されています。
- 会員番号は雑誌を送付している封筒の住所下に記されています。
- 御送金、住所変更、お問い合わせなどの連絡の際には、会員番号（九桁）をお知らせ下さい。

(例) 110-123456

「医道の日本」雑誌係

強盛にする力がある。経験深い練達の針灸師は、誰でもすべて、この力を、觀念として理解するのではなく、事実現象として目視している。

したがって、単に自然治癒力の強盛だけで及びがたい疾病は、効果疑問、無効の項目に入り、鍼灸治療の守備範囲を越える。

一九八七年五月二五日  
 〒380 長野市旭町一、二二〇〇

|   |  |
|---|--|
| <b>小 型 版</b> <span style="float: right;">医道の日本社</span>  |  |
| <p>柳谷素靈 校閲<br/>         井上恵理<br/>         本間祥白 著</p> <p><b>鍼灸 経絡経穴図鑑</b></p> <p>A 3版(42cm×30cm) 4色刷<br/>         定価500円 千70<br/>         折畳み寸法11cm×22cm</p> <p>■ 定評ある“経穴図鑑”の小型版。/<br/>         携帯に便利のように小型化し、勉強、臨床の便を図った。</p> | <p>本間祥白 著</p> <p><b>鍼灸 補瀉要穴の図</b></p> <p>A 3版(42cm×30cm) 4色刷<br/>         定価500円 千70<br/>         折畳み寸法11cm×22cm</p> <p>■ 経穴治療の指導図の小型版。/<br/>         古典の難経に則って補瀉の経穴を整理し、システム化した。1目で補瀉の原理がわかる。</p> |